



# 町長の四選出馬を問う

来年一月に任期満了による町長選挙が施行されますが、少子高齢化の時代を迎え、安定した町政経営が求められます。三期12年の実績を踏まえ、四期目を目指して出馬されるのか御意思を伺いたい。

町長

五次総の中間に来たところで、後半に向けやらなければならぬ課題がたくさん残っている。皆さんの御支援、ご理解がいただければ、四期目も町政を担わせていただきたい。

## 観光開発を問う 池田山麓花暦 みんなでつくろう花の名所

観光立町を目指して池田山麓の観光開発は、町を活性化するための重要な施策である。池田山麓はどの市町よりも素晴らしい自然環境に恵まれた立地条件にある。この恵みを受けた池田町民が自分の住む土地を愛し、町民自ら協働で作りあげていく夢を共有したい。観光資源としての花の名所づくりを進めていく上で、花をどう生かすかは大切な要件である。線から面へと規模の大きな拠点づくりが大切である。年間を通して池田山麓に花がある、大津谷公園

と霞間ヶ溪公園の周辺の二つのゾーンに絞って、池田山麓花暦として考えてはどうか。広く町民に呼び掛け「みんなで作ろう 花の名所」のキャッチフレーズで、町民自らが池田山麓をキャンパスにして作り上げていくことが大切である。

町長

池田山、或いは山麓一帯はお金では買えない素晴らしい自然だ。これを有効に利用しながら魅力ある観光資源として作っていくことが必要だ。

行政が全て進めるのではなく、皆さんの参加の中で作っていくことが大切である。全体的に考え、池田温泉と道の駅を健康ゾーン、余暇の森。霞間ヶ溪周辺をスポーツゾーン、交流の森。大津谷については、学習ゾーン、自然体験が出来るとして拠点作りをし、花で結んでいく事が大切である。

花の名所と言われるところは、長い歴史がある。早い実現を目指して計画を立てていただきたい。

町長

早速行動していくことが必要と思う。地域一帯の皆さんのご理解を得る中、一緒に作っていくと言う気持ちをお大切にしながら、進めて参りたい。



杭瀬川から霞橋に至る



▲禅蔵寺東耕作放棄地



▲霞間ヶ溪町有地からの眺望